

1号艇

3941

池田 浩二

いけだ こうじ

127,641,033円

全国 7.92 福岡 7.56

A1 愛知 47歳

11度目のSG制覇となった戸田グラチャンVに続き鳴門周年でもV。グランドスラムを目指し当大会制覇で王手だ。

2号艇

4418

茅原 悠紀

かやはら ゆうき

127,280,366円

全国 7.88 福岡 8.82

A1 岡山 38歳

今年常滑と平和島GIを制したほか、当地周年を含む2度のGI準VにSG優出と常に記念戦線のトップで活躍。

3号艇

5084

末永 和也

すえなが かずや

105,510,666円

全国 7.84 福岡 7.89

A1 佐賀 26歳

津ダービーで初SG制覇を果たし、一気に賞金ランク4位まで上昇。GP初出場を目指しスピードターンで勝負だ。

4号艇

4444

桐生 順平

きりゅう じゅんぺい

101,869,666円

全国 7.56 福岡 7.14

A1 埼玉 39歳

他を凌ぐスピードターンを武器に今年もここまでSG優出3回とハイレベルを維持。当地は周年Vもある実績水面。

5号艇

4262

馬場 貴也

ばば 貴や

92,977,000円

全国 7.45 福岡 7.05

A1 滋賀 41歳

不振を乗り越え今夏びわこ甲子園で涙の復活V。徳山オーシャンC準V、GI高松宮は圧倒Vと本領を発揮だ。

6号艇

4371

西山 貴浩

にしやま たかひろ

92,383,466円

全国 6.84 福岡 6.36

A1 福岡 38歳

7月徳山オーシャンCを制し悲願のSGウイナーの仲間入りを果たした。地元の今大会でGP2nd発進を確実にしたい。

28th チャレンジカップ

CHALLENGE CUP

10/25 26 27 28 29 30

ドリーム戦

11月25日

初日/第12レース

出場選手

[選出順位順]

データの見る

2025年獲得賞金額(10月31日現在)。選手名の右は登録番号・級別・支部・年齢(初日現在)

全国 最近6ヵ月

(2025年5月1日～10月31日)の全国勝率

福岡 最近3年(2022年11月1日～2025年11月2日)の福岡勝率

選出基準

2025年1月1日～10月31日の賞金上位34名

86,148,666円

上條 暢高

かみじょう のぶたか

4719

A1 / 大阪 / 31歳

全国 福岡

7.41 6.76

住之江、びわこ周年を制し飛躍の1年となった。

84,779,437円

新田 雄史

にった ゆうし

4344

A1 / 三重 / 40歳

全国 福岡

7.79 7.50

桐生周年制覇を含むV8と勝負強さが際立つ。

82,328,666円

峰 竜太

みね りゅうた

4320

A1 / 佐賀 / 40歳

全国 福岡

8.00 8.33

年末TR2ndの好成績獲得に大会初Vに照準。

78,786,466円

宮地 元輝

みやち げん

4445

A1 / 佐賀 / 39歳

全国 福岡

6.85 7.48

2年連続GP出場へ今年は2nd発進を目指す。

72,327,000円

佐藤 翼

さとう ひとる

4573

A1 / 埼玉 / 37歳

全国 福岡

7.41 7.58

戸田、若松でSG2優出と実力は証明済み。

69,367,546円

磯部 誠

いそべ まこと

4586

A1 / 愛知 / 35歳

全国 福岡

7.16 7.17

2年ぶりのGP出場へラストスパートをかける。

67,836,000円

瓜生 正義

うりゅう まさよし

3783

A1 / 福岡 / 49歳

全国 福岡

7.56 6.77

SGV3の地元水面でさらに勝負眼が冴える。

67,587,733円

菅 章哉

すが しょうや

4571

A1 / 徳島 / 37歳

全国 福岡

6.89 6.63

津、多摩川周年を制しGI V2と大ブレイク中。

66,107,533円

中島 孝平

なかしま こうへい

4013

A1 / 福井 / 46歳

全国 福岡

7.65 7.58

当地は前回周年で優出と攻略には自信あり。

65,572,000円

山田 康二

やまだ こうじ

4500

A1 / 佐賀 / 37歳

全国 福岡

8.07 7.90

新勝率で自身初の全国トップと充実感溢れる。

64,958,000円

丸野 一樹

まるの かずき

4686

A1 / 滋賀 / 34歳

全国 福岡

7.50 6.83

唐津周年を制しGI V9、SG初制覇ももう目前。

64,263,756円

井口 佳典

いぐち よしのり

4024

A1 / 三重 / 48歳

全国 福岡

6.94 7.12

勝負所ではスタートとターンの切れ味増す。

63,418,400円

仲谷 颯仁

なかつた はやと

4848

A1 / 福岡 / 31歳

全国 福岡

7.26 7.07

8月若松メモリアルはSG初優出と快走した。

62,762,466円

篠崎 元志

しのざき もとし

4350

A1 / 福岡 / 39歳

全国 福岡

7.07 7.65

地元水面で10年ぶりのSG奪取へ気迫見える。

61,399,000円

吉田 拓郎

よしだ たくろう

4166

A1 / 岡山 / 43歳

全国 福岡

7.58 7.03

要所で繰り出す鋭いスタートは上位陣に脅威。

60,884,333円

石渡 鉄兵

いしわた てつべい

3716

A1 / 東京 / 50歳

全国 福岡

6.55 8.48

4月周年を制するなど当地では好走が目立つ。

60,814,000円

原田 幸哉

はらだ ゆきや

3779

A1 / 長崎 / 50歳

全国 福岡

7.26 9.14

22年連続のGP出場懸けスタート攻勢で勝負。

60,179,546円

深谷 知博

ふかや としひろ

4524

A1 / 静岡 / 37歳

全国 福岡

7.39 7.38

10月蒲郡周年で準Vと年末に向け上昇ムード。

59,488,733円

片岡 雅裕

かたおか まさひろ

4459

A1 / 香川 / 39歳

全国 福岡

6.90 6.36

当大会は23年優勝含む優出3回と結果を残す。

58,390,266円

関 浩哉

せき ひろや

4851

A1 / 群馬 / 31歳

全国 福岡

7.43 7.22

多摩川周年準優を大外から差し切って15万舟。

57,915,666円

山口 剛

やまぐち つよし

4205

A1 / 広島 / 43歳

全国 福岡

7.13 7.50

2年ぶりのGP出場へ全力尽くし優勝を狙う。

56,787,720円

塩田 北斗

しおた ほくと

4566

A1 / 福岡 / 37歳

全国 福岡

6.77 6.66

若松クラシックではSG初優出で準Vと活躍。

56,333,546円

吉田 裕平

よしだ ゆうへい

4914

A1 / 愛知 / 29歳

全国 福岡

7.76 7.78

びわこ完全VからSG、GIと連続で優出だ。

55,729,200円

大塚 豊

おおづか ゆたか

4237

A1 / 山口 / 42歳

全国 福岡

6.98 7.16

8月若松メモリアルでSG初優出と大健闘だ。

55,691,000円

毒島 誠

ぶすしま まこと

4238

A1 / 群馬 / 41歳

全国 福岡

7.08 7.56

昨年のGP覇者が前期F2を経て連覇に挑戦。

53,917,000円

大上 卓人

おおうえ たくと

4682

A1 / 広島 / 35歳

全国 福岡

6.71 7.50

7月三国周年で念願のGIタイトルを奪取だ。

53,685,466円

森高 一真

もりたか かずま

4030

A1 / 香川 / 47歳

全国 福岡

6.41 5.50

4月桐生マスターズCで6年ぶりのGI制覇だ。

53,215,632円

上野真之介

うえの しんのすけ

4503

A1 / 佐賀 / 37歳

全国 福岡

7.34 7.64

9月浜名湖で9連勝し自身初の完全V達成。

28th チャレンジカップ

CHALLENGE CUP

総展望



グランプリ出場へのラストバトル!

年末の一番・グランプリへの出場権を懸けたラストバトルの舞台となるのは、チャレンジC初開催の福岡。賞金上位18名がグランプリへ出場できるようになった14年以降、優勝者は全11回のうち8回がトライアル2nd発進を果たした選手。今大会で2nd発進を確定

させることがグランプリ制覇への近道と言える。

今年SG2冠で賞金トップの佐藤隆太郎がF休みだけに、同2位の池田浩二(愛知)、3位の茅原悠紀(岡山)、4位の末永(佐賀)、5位の桐生順平(埼玉)はトライアル2ndの1号艇が懸かる重要なシリーズに。6位の馬場貴也(滋賀)は現順位キープが最低条件となる。

最近2年間のトライアル2nd発進のボーダーラインは1億超えだが、今年は既に5名が賞金1億円を突破しており、1億1000万あたりが必要になりそうな状況。現時点では西山貴浩(福岡)、上條暢高(大阪)、新田雄史(三重)、峰竜太(佐賀)、宮地元輝(佐賀)、佐藤翼(埼玉)の6名は優勝すれば想定ボーダーに届く計算だ。磯部誠(愛知)、瓜

生正義(福岡)、菅章哉(徳島)、中島孝平(福井)の4名は、このまま18位以内キープを目標に戦い抜く。

また、チャレンジC最大の魅力と言えばグランプリ出場を懸けたボーダー下からの勝負駆け。前回大会は選出順位34位で出場(賞金順位は42位)の河合佑樹がSG初制覇でグランプリに出場。まさに醍醐味を体現した大会に。それ以前の3大会でも出場圏外の選手が優勝してボーダー突破に成功中。

となれば、特に地元で気合十分の仲谷颯仁(福岡)、篠崎元志(福岡)、塩田北斗(福岡)が勝負駆けを成功させることができれば「ドラマチック」だ。